

伊方町議会第70回定例会に係る一般質問通告内容

質問者	質問の大綱	質問の相手
加藤 智明 議員	1 聴覚障がい者に対する支援と対策について	町 長
質問の要旨		
私の周りでもマイク放送が聞こえていない、会話が通じにくい、会話の内容を間違えて把握してしまうと言った方が増えていると感じていましたので、今回は、聴覚障がい者に対する支援と対策についてお尋ねしたいと思います。 聴覚障がい者には生まれつきの方、事故や病気でなられた方、そして加齢等による原因など様々な理由で聴覚障害を持たれるようです。 若い方は手話やタブレットを使った方法で周りとのコミュニケーションを取ることが可能ですが歳をとってから聴覚障害になられた方はなかなか手話やタブレット等の操作方法を覚えるのは難しいのではないかと思います。 そういった高齢になられてから聴覚障害を持たれる方に対しては特に社会全体で積極的にサポートする必要があると思っております。 最初に言いましたが、私の周りでもマイク放送が聞こえないと言われる方も少なくありません、救急や災害時にマイク放送や電話が聞こえない事で、万が一の場合に生命の危険性を危惧するところであります。 また、普段の生活の中で会話が成り立たないから人の輪の中に入らない、人の輪を避ける方もいるようです。 そう言った理由で、孤立してしまうことは心身共に良くないと憂慮しております。 最も身近な対策としては、補聴器等の補助具の活用だと思いますが、装着率が低いのは、いくつかの理由もあるようです。まず、買ってみたが雑音等が多く合わなかったといった理由で辞められた方もおられるようです。耳鼻科等への移動および専門医との会話に対する煩わしさ、今はコロナへの感染の恐れもあるので病院等に行けないなどの話も聞いております。最後に補聴器の価格ですが、高いものになると30万程する補聴器もあると聞いて驚きました。年金暮らしの高齢者には購入の足かせになっているのではないのでしょうか。 そう言った理由で人の輪に入っていけない方を少しでも減らし、老後も楽しく伊方町でいつまでも暮らせてもらえるような支援が必要だと感じております。 先にも述べましたが、病院に行こうか、補聴器の購入に悩まれている方は多いのではないかと思います。 そこで、定期的に専門医等を伊方町に出張していただき、悩みを相談できる環境を作ってはいかがでしょうか。 また、住民税、自動車税、贈与税等の税金の減免、補聴器等の補助具費支給制度、有料道路通行料の割引、NHK放送受信料の割引、公共施設等の入館料等の割引、障害者手帳を持たれている方に対し様々な支援制度があるようですが、今述べた支援制度のうち伊方町で該当する補助又は支援等があるのか、障害者手帳を持たれている全ての方が該当するのかも合わせてお尋ねいたします。		